

大潟村の稲と人がやって来る前の遠い昔から、この地を見つめる森山の背後に、今日も朝日が昇ります。

## それでも、 稲は実りゆく

どんなに人間が迷っても、自然は力強く巡ってゆく。  
そして人間も、その強さを持ち合わせている。  
秋田県大潟村で黄金色に輝く稲と  
お米の生産者・黒瀬さんは、  
そう教えてくれました。



黄金色に色づいた、見渡す限り広がる大潟村の稲田では9・10月、収穫を迎えて大忙しです。

## 秋田・八郎潟の 干拓と減反

2018年、約50年にわたり続いていた「減反政策」が廃止されました。減反政策とは、米の生産量を減らすという国による政策です。第二次世界大戦下の日本では、食糧不足を解消するため、1942年に「食糧管理法」を制定。米や麦など穀物を中心とした食糧の生産・流通・販売は、国の統制のもと行われました。その後、1960年代には、品種改良や栽培技術の向上、機械化などにより米の生産量はピークに達し、余剰状態になります。米の余剰とともに、米を農家から高い価格で買い取り、消費者へ安い価格で売っていた食糧管理法で出た赤字を解消するため、1969年に減反政策が開始されたのです。

時を同じくして、琵琶湖に次ぐ国内第2の広さを誇る秋田県の八郎潟では、世界銀行と国際連合食糧農業機構の調査団が調査した結果、干拓事業の有用性が認められ、約20年の歳月と約852億円の巨額の国費を投じた大事業が行われました。湖底から生まれ変わった大地に開村した「大潟村」には、1960年代後半から1970年代半ばまでの間5回にわたり、全国から入植者が移り住んできました。

## 正義の男は自ら 農家になった

「ばつと見るといいけれど、そばに寄って見たら、稲穂の先が切れている。ちょうど実りの時に来た台風の強風やね。7月は低温、8月は酷暑やし、異常気象だな。食味はよさそうだけれど、収穫量が2割減。おも

# 減反政策に 翻弄されて

ろない(笑)。コンバイン(稲刈り機)が進み続ける広大な黄金色の稲田に、笑いながら軽トラから降りてきたのは、ライスロッジ大潟(秋田県大潟村)の黒瀬正さんです。滋賀県庁の農政課で勤務後、1975年に大潟村に入植し、米を育て続けています。

「減反政策が始まる前、戦後も続いた食糧管理法で、余ってもまずくても一定の価格で国は米を買い取っていた。農家は農薬や化学肥料を使っても、とにかく量をとろうとしていた。当然、米は余るのよ。減反政策が始まると、行われていた大潟村への入植も一時中断され、すでに米を作っていた農家も戸惑った。「米が余って赤字がかさむ」という大蔵省と、「新しい農業モデルをつくる」という農水省は対立状態だった」。



「はつと気づくと74歳。今はゆったりペンキ塗り」。機械を格納する手作りの小屋と黒瀬正さん。



稲の茎が白っぽくなるのが収穫どきのサイン。



「父との仕事に申し送りはない(笑)」と息子・友基さん。



八郎淵を干拓して生まれた大潟村の中央部を流れる幹線排水路。田んぼから出る農業用水はこの排水路を通り、ポンプで干拓地の外へ排出されます。兩岸のポプラと松は防風林。

干拓事業と減反政策は、農地を作ったのに米を作らせないという矛盾をはらんでいたのです。

「もともと湖だった大潟村は水はけがよくないから、栽培できる作物は主に米。村の農家は、減反賛成・反対で真つ二つに分かれた。減反政策に従うともらえる補助金があり、また利権が絡んで話が前に進まない」。国とのやりとりで黒瀬さんは、「そもそも食糧管理法は、食糧が不足した時にのみ、政府は政令を持ってできるもの。この運用に法的根拠はない」と理路整然と言います。しかし、減反政策は強化され、米の作付面積削減の強い要求、栽培したら稲を刈られる「青刈り」、土地を没収するという呼びかけまで行われ、自ら命を絶つ人も出たのです。

「農家の誇りまで奪っている状況が許せず、だったら自分が変えてやるというのが、減反問題に関わった理由やね。でもね、役人だけが悪いのではなく、農家も自立心をなくしていた。しがらみのない環境で、みんなでのびのびと米を育てたい」。1980年代以降、米の消費量や農家の減少などもあり、減反政策は存在するものの弱まっていき、食糧管理法も新しい法になり、改正されていきました。「状況が落ち着きつつあったこの頃から、本来の農業の姿に戻ろう」と黒瀬さんは、有機栽培や農家と消費者が直接つながる自販売を始め、大地を守る会との付き合いも始まったのです。

## 後継ぎの息子も稲も育つ

「稲の茎が白っぽくなったら収穫どき」と稲穂を手にする黒瀬さんの隣りに立つのは、後を継ぐ息子の友基さん。「自分で育てた米を、自分の

名前で最後まで売ることができのうが、農業のおもしろいところ」と言う友基さんの背中には父親をつくり出す。減反政策の廃止後も、米の消費量や農家の減少、種子法の廃止による種への影響など課題が山積する中、明るい親子が手塩にかけて育て、今年も大潟村の稲は力強く実っています。

黒瀬さんのお連れ合い・喜多さんが作った新米・あきたこまちのおむすびを食べた黒瀬さんは、「もっちりとして食味が最高やね」と満面の笑み。おいしさは自然のエネルギーと、人の温かさからできているのかもしれません。黒瀬さんは言いました。「いつでもまた遊びにおいでや」。



黒瀬さんの稲田を歩くと、とんぼやいなごがいっぱい。

## C O L U M N

### 減反政策廃止のこれから

「当分、米の生産量はあまり変わらないと思う」。2018年から減反政策が廃止され、これからどのような状況になるのかについて、黒瀬さんは語ります。「作付面積を減らすともらえる補助金はなくなるけれど、田んぼで他の作物を栽培するともらえる補助金はなくなる。米がたくさん作られて米価が暴落したら大変とも農家は思っているからね。補助金漬けの稲作は変えた方がよいのだけれど……」。また、経済優先の社会の流れを見て、「消費者も忙しすぎてとりあえず市場にあるものを買うということも多いから、気づいたら遺伝子組み換えの米が出回っている可能性もある」と黒瀬さん。私たちの主食である米には、これからも大きな課題があるのです。



「正義の男」が守り育てた  
提携米大潟村あきたこまち  
(栽培期間中農薬不使用)

- 1186 新米 白米 2kg 1,480円 (税込1,598円)
- 1187 新米 玄米 2kg 1,380円 (税込1,490円)

提携米大潟村あきたこまち

- 1192 新米 白米 5kg 2,830円 (税込3,056円)
- 1193 新米 玄米 5kg 2,630円 (税込2,840円)

※同時配布のカタログ『タッチオーネ』147号も合わせてご覧ください。



右/「あきたこまちはもっちりとして、おむすびやお弁当にも合うねん」。  
左/「新米はよりつやがあるのよね」とお連れ合い・喜多さん。

# イベント

編集後記

あきたこまち吸水の遅い品種なので、たっぷり水を吸わせてあげるとさらさら炊き上がります。お米を研いで水を入れたら、30分置いておくだけ、朝に炊く場合は前日の夜から一晩置いてOK。息子・友基さんと母・喜多さんが教えてくれたポイント、皆さんぜひお試しください。(編集部・大原)

## 畑で一仕事やおしゃべりで体も心もリフレッシュ 福井さんの畑のお手伝いに行こう！ 2018.12.1(土) 10:00~15:30



白菜の生産者・福井忠雄さん、一洋さん親子の畑では、毎年11・12月、「頭縛り」を行っています。白菜を一つ一つ外葉で包み、ひもで縛る「頭縛り」により、霜で傷まずに越冬ができ、甘みをぐんと蓄えた白菜になるのです。この「頭縛り」をお手伝いし、白菜の畑で気持ち良い汗をかきましょう。福井さんの畑でとれた季節の野菜のおみやげ付きです。

**DATA**  
**訪問先**…福井忠雄さんの畑(埼玉県日高市)  
 ※JR川越線「武蔵高萩駅」よりタクシー10分  
**駐車場**…あり(無料)  
**講師**…福井忠雄さん・一洋さん親子  
**参加費**…無料 ※野菜のおみやげ付き  
**定員**…30名  
**申込**…11月16日(金)まで  
**主催**…大地を守る会  
 ソーシャルコミュニケーション部



右/寒い時期に美味しい白菜が食べられるのは、「頭縛り」のおかげ。左/一面に広がる白菜畑での一仕事で、体も心もすっきり。

※自家用車でお越しの場合、お申し込みの際にその旨を備考欄にご明記ください。  
 ※あったかい味噌汁をご用意しております。  
 ※昼食は各自でご持参ください。



## 白米麴で愉しむ、おうち仕込みの旬の味 真藤舞衣子さんの麴アレンジ講座 2018.11.24(土) 13:00~16:00



白米麴を使って甘麴と醤油麴を仕込み、旬の食材をおいしくいただくアレンジの方法を学びます。講師は、料理番組や雑誌でも活躍中の真藤舞衣子さん。毎日の食卓に取り入れやすい、シンプルでヘルシーな発酵料理メニューを予定しています。

**DATA**  
**会場**…オイシックス・ラ・大地  
 Osaki Kitchen Studio(品川区)  
 ※JR「大崎駅」南改札口から徒歩5分  
**講師**…料理家・真藤舞衣子さん  
**参加費**…3,000円  
 ※白米麴や野菜などの材料代を含みます。  
**定員**…30名  
**申込**…11月16日(金)まで  
**主催**…大地を守る会 発酵ラボ



おなじみの料理も麴の力でさらにおいしく仕上がります。



※お子さん(小学生以下)は2名まで無料です。

## 無垢の木を使ってラックを作しましょう はじめての木工教室 2018.11.23(金・祝)10:00~15:00



良い香りのする無垢のヒノキを材料に、「木のラック」を作ります。工務店の方が丁寧に教えてくださるので、木工が初めての方やお子さんでも大丈夫。木を切ったり、釘を打ったり、やすりをかけたりと、木の工作の基本も学べます。木工のことはじめにぜひどうぞ。

**DATA**  
**会場**…深建工場の作業場  
 (神奈川県横浜市旭区)  
 ※JR横浜線「中山駅」よりバス10分、「笹峰」下車徒歩1分  
**駐車場**…あり(無料)  
**講師**…深建工場スタッフの皆さん  
**参加費**…1組 3,000円  
 ※ラック1つ分の材料代を含みます。  
**定員**…10組  
**申込**…11月16日(金)まで  
**主催**…大地を守る会  
 住宅領域事業開発セクション



木にふれ、ものを作り、大人もお子さんもわくわく。

※自家用車でお越しの場合、お申し込みの際にその旨を備考欄にご明記ください。  
 ※昼食は各自でご持参ください。

## 土曜日に午前・午後の2回開催! 食べ較ベシリーズ~ソーセージ編 2018.12.8(土) 1回目 10:30~12:00 2回目 14:30~16:00

中津ミート(神奈川県)、ウインナークラブ(徳島県)、ファイン(山形県)、ファーマーズファクトリー(北海道)、とん太ファミリー(栃木県)の5社のプレーンソーセージを食べ較べます。市販品との差異や各社の特徴を学び、自分好みのソーセージを見つけましょう。

**DATA**  
**会場**…オイシックス・ラ・大地  
 Osaki Kitchen Studio(品川区)  
 ※JR「大崎駅」南改札口から徒歩5分  
**講師**…大地を守る会仕入れ担当・及川浩之  
**参加費**…300円  
 ※3歳未満は無料です。  
**定員**…各回30名  
**申込**…11月23日(金・祝)まで  
**主催**…大地を守る会 港北大地サークル



プレーンソーセージ以外の種類も試食予定です。

※参加回の第1希望、第2希望を、お申し込みの際に備考欄にご記入ください。お申し込みの状況により、回を調整させていただきます。  
 ※港北大地サークルでは、「食べ較べ」に差異を調べるという意味を込めています。

## 今年の講師は探検家の関野吉晴さんです アジア農民元気大学 年末特別講演・公開教授会 2018.12.15(土) 15:00~19:00

アジア農民元気大学は「田畑が教室で農民が教授」という概念で、大地を守る会が立ち上げた架空の大学。年末特別講演は探検家の関野吉晴さんに、「農の世界、狩猟・採集・遊牧の世界」という演題でお話しいただきます。講演後(17時より)は「教授」たちが近況を報告します。

**DATA**  
**会場**…オイシックス・ラ・大地  
 Osaki Kitchen Studio(品川区)  
 ※JR「大崎駅」南改札口から徒歩5分  
**講師**…関野吉晴さん  
 (探検家、医師、武蔵野美術大学教授)  
**参加費**…無料  
**定員**…30名  
**申込**…11月23日(金・祝)まで  
**主催**…大地を守る会 アジア農民元気大学



南米最南端からアフリカまで人類拡散の足跡「グレートジャーニー」を、人力で遡る旅に取り組んだ関野さん。

お申し込みはWEB  
 または右記申込書を  
 注文書と一緒に  
 ご提出ください



お問合せ

オイシックス・ラ・大地  
 ソーシャルコミュニケーション部  
 TEL 050-5306-8513  
 E-mail csr@member.daichi.or.jp

### 注意事項

当社は、大地を守る会のイベント及び大地を守る会が告知する他団体のイベントにお申し込みいただく際、ご記入いただく個人情報をお申し込み内容に関する確認、参加者への連絡、抽選、抽選結果連絡、お問合せに対する回答、非常時に関する対応、イベントの質向上管理のために利用させていただきます。なお当社は、イベント等を旅行業者に業務委託する場合があります。この場合、個人情報を開示することがあります。業務委託にあたっては、個人情報の保護に関する契約を締結し、業務委託先が契約を遵守するよう必要かつ適切な管理及び監督を行います。上記に同意の上お申し込みください。個人情報の取扱いに関するその他の条件については、当社ウェブサイトの個人情報保護方針をご確認ください。  
<https://takuhaidaichi-m.co.jp/information/8>

## 2018年11月号 イベント参加申込書

ソーシャルコミュニケーション部行

イベント名				参加人数	会員番号			
				人				
参加者の氏名	性別	学年・年齢	アレルギーの有無	参加者の氏名	性別	学年・年齢	アレルギーの有無	
メールアドレス(事前連絡が可能で添付ファイルが受信可能なもの)				携帯電話番号(当日連絡が可能なもの)				

\*ご家族の場合、代表者の分のみをご記入ください。

備考(会員として登録された「住所」と異なる方がいらっしゃる場合はその方の住所、他連絡事項がある場合はその旨をご記入ください。)

\*複数のイベントにお申し込みされる場合や記入しきれない場合は、「連絡便」などに必要事項を明記の上、ご提出ください。



発行 オイシックス・ラ・大地株式会社  
 東京都品川区大崎1-11-2  
 ゲートシティ大崎イーストタワー5階  
 TEL 050-5306-8513